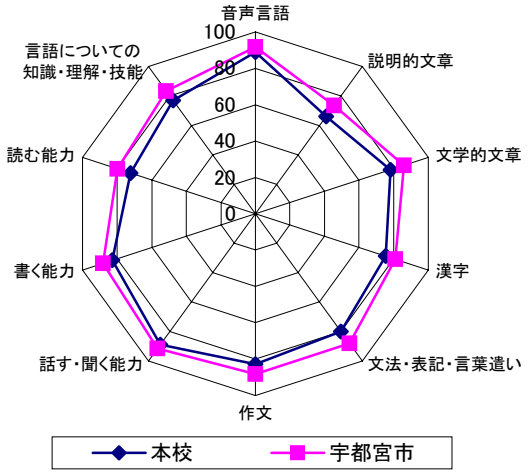
宇都宮市立上河内中学校第１学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	89.0	91.7
	説明的文章	66.2	73.5
	文学的文章	78.1	85.9
	漢字	75.4	81.0
	文法・表記・言葉遣い	80.2	88.2
	作文	82.7	88.2
観点別	話す・聞く能力	89.0	91.7
	書く能力	82.7	88.2
	読む能力	72.1	79.7
	言語についての知識・理解・技能	77.0	83.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (89.0%)	・音声言語、つまり話したり聞いたりする能力は宇都宮市の平均的レベルにある。物語や短編小説は興味を持って聞くことができる。	聞き取りテストやスピーチなどをとおして、全体の力をさらに高めていきたい。
説明的文章 (66.2%)	・宇都宮市の平均よりやや低い。筆者の主張がどのように筋道を立てて述べられているかの理解が低い。	・説明的文章の段落相互の関係や接続語の効果的な使われ方について、教科書教材と他の補助教材を利用して、読み取りの力を高めていきたい。
文学的文章 (78.1%)	・主人公の心情の移り変わりを、表現を手がかりに読む 力が身につきつつあるが、成果となって表れるには時間がかかると思われる。	・情景描写や心情描写を手がかりに、読解ワークシートを作成し、記入作業をとおして、主人公の心情に迫らせる工夫を継続していきたい。
漢字 (75.4%)	・現在、新聞記事の視写を授業に取り入れている。そこから、語彙力を向上させる取り組みを行っている。着実に言葉の力がついていっていると思われる。	・単元テストや漢字テストで、間違えた漢字を漢字練習長を用いて練習させ、語彙力を定着させていきたい。
文法・表記・言葉遣い (80.2%)	・文法の学習の始まりとしては、学習の内容の定着度が高い。日頃の言語環境を整えようとしている本校の実践が、生徒のよい言葉遣いにもつながっていると思われる。	・感想文、作文を書く時間を夏休みの課題以外にとる工夫をして多くの文章を書かせたい。
作文 (82.7%)	・多少、時間はかかるが、事実を的確にとらえ、表現しようとする能力が高い生徒が多い。しかし、書くことに抵抗を感じている生徒も多くいることも現実である。	・生活文、感想文、体験文、スピーチメモなど、文章を書く機会を多く作り、指導者の適切な添削と賞賛で、書く意欲を高めていきたい。